

第2回理事長講話

— 通信制生徒の特別活動 —



6月12日（日）に通信制生徒対象の理事長講話が行われました。1回目の4月17日（日）の講話に続き、今回は2回目です。「人間（自分）を知る」をテーマに「人は何で生きるか」や人間の持つ力について教えていただきました。生徒から寄せられた感想を紹介します。

理事長先生の講話を聞いて、2つ思ったことがあった。1つ目は、言葉はどんな形にでもなるし、どんなふうを使うかで人を生かすも殺すもできるということ。2つ目は、素直なことは良いことだと思うが、周りに流され、自分の考えを容易に曲げてしまうことは違うということ。この2つを日々の生活の中でも忘れずにいたい。 （石橋 この実）

理事長講話で「言葉の力」や「何で生きるのか」という自分の人生を豊かにする話を聞くことができてよかった。もっと自分を知るために「人は何で生きるか」という文学を深く学んでみたいと思いました。 （兼子 颯太）

好きでもない勉強をしていると「なんでこんなことを勉強しなきゃいけないんだろう」と思うことがあります。しかし、今勉強していると将来の選択肢が広がるし、人生が豊かになるだろうから、熱心に取り組んでいこうと思いました。 （見田 優菜）